

皆さん こんにちは

レイラ・バホス連邦区政府スポーツ長官、

アスイリノ・ヒベロー連邦区政府市民社会活動局長

オリンピック・パラリンピック・センターの生徒の皆さん。

本日は、日本のミズノ社から寄贈頂いたサッカー・シューズ100足を皆さんにお届けできる事を非常に嬉しく思います。

ブラジルでは、いよいよ8月5日、南米大陸初となる「リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック」が開幕します。リオ大会の成功は、次の2020年大会を開催する日本にとっても非常に重要です。

日本は、2020年に向けて「スポーツがよりよい未来を創る」との理念をかかげ、「スポーツ・フォー・ツモロー」と呼ばれる事業を推進しています。

日本政府は、一人でも多くの子供たちが、スポーツを通じて体を鍛えるだけでなく、忍耐や規律、フェアプレー精神を学び、人生を豊かにして貰いたいと考えています。本日のシューズもこの事業の一環としてお届けしています。「ス

「スポーツ・フォー・ツモロー」の理念は、皆さんが所属するこのオリンピック・パラリンピック・センターの理念と相通ずるものがあります。サッカー・シューズを大いに活用して、サッカーを大いに楽しみ、自分自身を大いに鍛えてください。

最後に、皆さんの健全な成長、オリンピック・パラリンピック・センターの更なる発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

有難うございました。